

## かかりつけ医向け患者情報に関する調査 資料 15-1

高齢化社会で地域が高齢者の医療・介護を担う前提条件として、病院が患者の生活情報（病院での暮らしぶり、食事療法、リハビリテーション、服薬関係、食事、性格、問題行動、IC 等）を地域に供給する必要があるが、現状はほど遠く先生方にはご苦労をお掛けしています。そこで、柏屋医師会は開発したデジタル化辞書を電子カルテに搭載して、かかりつけ医が双方向性テンプレートで病院に地域の課題や意向を伝える。病院は地域目線の医療を実践し、標準的で判り易い表現の報告書をかかりつけ医に配信する。かかりつけ医は看護師や介護職と情報共有と協議のミニネットワークを構築する。言い換えると、病院の内外の多職種がかかりつけ医を中心組織横断的に情報を共有し、地域の意向を病院の患者情報に反映させて、その価値のかさ上げを図る（顧客起点の価値の創出）。柏屋医師会が国家戦略のデジタルトランスフォーメーションの具現化を計画しています。

病院からの情報伝達や報告書の取得や活用、病院への情報伝達に関して、ご意見を頂き、柏屋地域医療ネットの更なる熟成を図りたいと存じます。宜しくお願ひします。  
あてはまる回答はいくつでも□に✓を入れて下さい

### かかりつけ医各位

#### ① 患者さんの生活情報の活用は

- 地域の介護や看護等への指導材料、また問い合わせの回答の活用している
- 家族や患者への指導材料、また問い合わせの回答の活用している
- 生活情報は疾病の管理や生活指導に活用する
- 地域の看護職や介護職を介して患者さんに安全な暮らしに活用している
- 病状の程度から適切な生活情報、指導水準を判定・指導に必要
- 居宅環境の改善計画、相談にのっている
- 行政、地域包括との協議に使っている
- 調剤薬局との協議に使っている

#### ② 患者さんの生活情報の収集はどうしていますか

- 生活情報を十分に集めることができず、苦労している
- 病院の診療情報提供書等の文書で生活情報を取得している。
- 病院看護師の看護添書等の書類で生活情報を取得している。
- 病院の医師・看護師以外の職種の文書で生活情報を取得している。
- 病院の連携室等の職員から口頭で生活情報を取得している
- 調剤薬局から患者さんの情報を得ている
- 患者や家族から生活情報を取得している。
- 地域の介護職、ケアマネージャー等から生活情報を取得している。
- 地域の介護職、ケアマネージャー等の委託を受けて病院から情報を得ている。

- 行政や地域包括から情報を得ている。
  - 不足の情報は病院に問い合わせている
- ③ 患者さんの生活情報の取得に問題はありませんか
- 病院の看護情報が十分に提供されていない。
  - 必要な患者情報の収集に時間がかかり困っている
  - 病院の情報がばらばらに来る
  - 病院からの文書が判りにくい
  - 栄養指導に関する情報が手に入らない
  - 病院で、時には個人で記載方法が異なり、理解しにくい
  - リハビリテーションの情報が手に入りにくい。
  - 薬剤に関する情報が入りにくい
  - 病院の服薬指導の情報が十分に提供されていない。
  - 病院の栄養指導の十分に提供されていない。
  - 病院の診療情報提供書が十分に提供されていない。
  - 患者や家族への生活指導に十分な情報が集まらず困っている
  - 主治医に聞いても要領を得ないことがある
  - 病院で地域連携室の役割が異なる
  - 入院時に依頼していた気になること、課題に対しての回答がない
- ④ 病院への問い合わせの際の問題点
- 生活情報を病院に聞いても満足した回答が得られない
  - 病院の誰に聞いていいか判らないことがある。
  - 生活情報で問題が発生した時、病院の誰に聞いていいか判らない
  - 入院でお願いした課題や気になること、問題点に関する回答がない。
  - 薬剤に関する相談はどこにすればいいか
  - 地域連携室が取りまとめて回答して欲しい
  - 病院への連絡に時間がかかる、煩わしい。
- ⑤ 双方向性テンプレートで地域の要望を病院に伝えたいと思います。該当項目に✓をお願いします。また、新たな事項があったら下線に記入ください。
- 夜間の状況や問題行動とその対応を教えて欲しい
  - 病院で使用して安全で効果を発揮した頭痛薬や解熱剤、抗生物質を教えて欲しい
  - I Cの内容と患者さんの反応を教えて欲しい
  - リハビリテーションを継続させる方法
  - 新たな記載事項
- 
-

⑥ 地域の介護職やケアマネージャー、看護から相談や質問を受けることがありますか

- よく聞かれる
- 時々聞かれる
- 判り易く答えている
- 聞かれたことに回答ができず、困ることがある。
- 情報を集めてかいとうしているが負担が大きい。
- 相談して答えるようにしている
- 判らないと答えている。

『医師向け患者情報にかんする調査』、電子カルテの改造、電子カルテの改造 R5、  
電子カルテ必要書類 2-14